

大淀町農業委員会農地利用最適化推進委員の推薦及び応募の状況

推薦の状況

(届出順)

番号	被推薦者(推薦を受けた者)								推薦者(推薦をする者)		推薦の区域	農業委員の候補者		
	氏名	職業	年齢	性別	経歴	農業経営の状況		認定農業者等の区分	推薦を受ける理由	農地利用最適化推進委員となった場合に取組もうとする事項			氏名又は名称	推薦理由
1	若松 克昌	農業	67	男	昭和57年3月11日 近畿日本鉄道入社 令和2年4月1日 今木農業生産組合会計就任(現) 令和3年4月16日 今木区評議員就任(現) 令和5年2月28日 近畿日本鉄道退社 令和5年7月より 大淀町農地利用最適化推進委員	耕作面積 100 アール	生産作物 水稻	非該当	地域の農業の実態を考えると、80歳以上の高齢者が今後どれだけ農業を守っていくことが出来るか疑問である。67歳である私が「若い」とは言えないが、少しでも地域の農業、今後の持続可能な農業経営を考えていきたいと思い、推薦を受けることとした。 また、令和5年度より本委員として活動したが、引き続き本委員として活動を続けたい。	・農地として有効に利用できる耕作地を把握し、持続可能な食料生産を行う。 ・農業をやめた所から、農機具を借り入れ、農作業をする人たちに有効に貸し出すなど、高額になる農作業を安価にできるよう地域で協力し合う。 ・今後農業を継続して行おうとしている人たちとの連携を図る。	宮本 定則 峯 定和 松田 佳之	現在、100アールの水田を耕作している。地域における農業従事者のなかでは若手に属し、農業機械の大型化を図りながら、高齢化し農業をやめざるを得ない水田を耕作するなど、地域の農業存続になくてはならない存在である。また、機械の大型化だけでなく、農作業の時間短縮をどうすればよいか等、持続可能な農業経営を模索し続けている。令和5年度より、大淀町農地利用最適化推進委員として活動し、その職務を果たした。引き続き本委員として職に就けるよう推薦します。	西部地区	無
2	米田 幸祐 (示すに右)	農業	69	男	平成31年～ 農業に従事 令和4年4月1日～令和6年3月31日 金吾町区副区長	耕作面積 30 アール	生産作物 水稻	非該当	日頃より米作りを熱心に行っているから、推薦されたのではないかとと思う。	農地耕作放棄地の有効利用を考え、解消活動に取組みたい。	金吾町区区長 大西 忠則	当区の事情にも精通されており、自身も稲作等にも従事されており、人柄も良く適任者であると思います。	中部地区	無
3	小澤 久則	農業	78	男	令和2年7月～ 大淀町農地利用最適化推進委員 令和5年4月～ 大淀町増口農業生産組合長	耕作面積 50 アール	生産作物 水稻	非該当	荒蕪地の有効利用 耕作放棄地の活用を図る	耕作放棄地解消の為に、関係官庁や団体(中間管理機構)と連携を密にして具体的な対策を立てて活動する。	大淀町東部 区長会 会長 森田 雅人	東部地区の遊休農地を多く所有する町外企業の管理者であり、常に有効活用を考えており幅広い人脈を持っており行動力を有する人物として推薦するものである。	東部地区	無